

事業実績書

活動名称	果物皮チーム	
活動実績	<p>果物を食べる際の実態を調査するため、山形東高校においてアンケート調査を行い、リンゴの場合はおよそ半分、モモの場合は約8割の人が毎回皮を剥いて食べていることを確認した。また、皮の硬さが、リンゴとモモにおいて皮を剥く主な要因になっているということがわかった。</p> <p>アンケート結果を踏まえ、硬さにおいて、皮ごと食べるのに適した果物を調査することとした。7種類の食品（柿、ナシ、リンゴ、キウイ、スモモ、キュウリ、トマト）について、果実硬度計を用いて硬さを計測した。また、複数の被験者に皮ごと食べてもらい、感想を得た。結果から、生のまま皮ごと食べられることの多いキュウリよりも柔らかいという結果や、食感が快いと感想が得られたリンゴとキウイが、皮ごと食べるのに適していると判断した。</p> <p>リンゴの皮ごと食べるのに適した切り方について調査した。4種類の切り方（横にスライス、スティック状、縦にスライス、楕形切り）について、切るのにかかる時間を測定し、さらに複数の被験者に皮ごと食べてもらい、皮が気になる度合いを調査した。その結果、各切り方には長所と短所があり、最適な切り方を断定することは困難であると判断した。一方で、調査の過程で、皮の好みに個人差があることや、切る手間が異なることが明らかになった。これらの特徴を踏まえた上で、消費者それぞれが自分に合った切り方を試すことが推奨されると判断した。</p>	
参加人数	3名	
活動場所	山形県立山形東高等学校	
活動指標	目標	リンゴの皮を剥かずに食べる人を20%増やすことを目標とする。
	実績	具体的な人数を測定できなかったが、改善に向けたデータを取ることができた。
完了日	令和7年3月13日	
特記事項等		

